



# 秋厚労ニュース

NO1966号

2021年7月28日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

# 全厚労 拡大女性部会議

## オンライン

7月16日（金）、全厚労拡大女性部会議がオンラインで開催され、52名（秋厚労8名）が参加しました。講演から始まり、各県の取り組み報告や早押しクイズ、グループワークと有意義な会議となりました。



## 日本人の58%が年休取得に罪悪感

7月16日（金）、全厚労拡大女性部会議がオンラインで開催され、秋厚労から8名が参加しました。

初めに日本医労連女性協の川上真理さんが「権利を知って働き続けられる職場をつくろう」をテーマに講演。川上さんは「有給休暇国際比較調査では）年次有

給休暇の取得に罪悪感のある人の割合が調査した12カ国中、58%で日本が1位。休みを取らない理由の1位に人手不足が挙げられている。自分が休むと他の人にしわ寄せがい

くと思う人も少なくない。」と話しました。「年休取得の権利意識が薄いのも日本が1位。働き続けられる職場を作るためにも権利意識を高め、まずは年休を取りましょう」と訴えました。

福島

### 生理休暇取得

### 年間86名（延べ141日）

各県からは母性保護月間の取り組みについて報告がありました。

し母性保護について考える機会を設けました。

### 早押しクイズ

### グループワーク

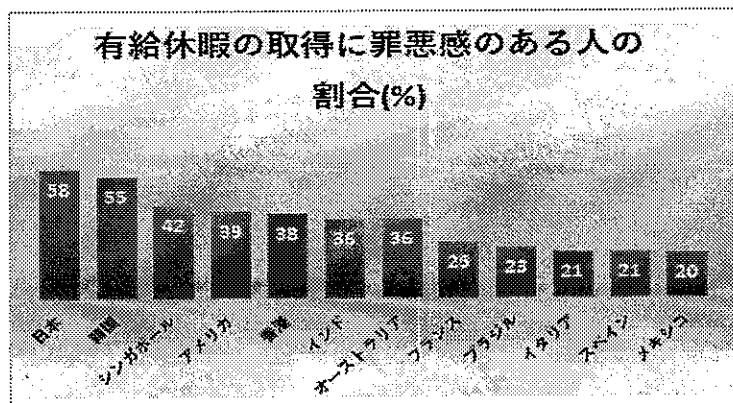
福島では生理休暇の取得について年間86名、延べ141日の取得があり、内52名が月間中の取得と報告がありました。

同会議内で早押しクイズ大会も催されました。景品は各県のご当地グルメ。県に因んだクイズや女性の権利に関する問題が出題され、楽しみながら学ぶことができました。

茨城では全厚労のポテツカーの吹き出し部分のコメントを募集。作品を募り、紹介

グループワークは、今回の学習会で思ったことや職場の状況などについて話し合いました。「生理休暇が取れている県は少なく、取りづらい雰囲気がある。」「急な休みを申請すると、前

もってついていた休みと交換された。」という意見に、画面越しにうなずく仲間の姿が見受けられました。参加した人からは「他の県の人と話し、意見交換ができて良かった。」という声や、「他の県に出向いて会議に参加するのはなかなか難しいが、オンラインだから参加できた。参加して良かった。」と、オンラインならではの感想も聞かれました。



出典：有給休暇国際比較調査2018（エクスペディア）